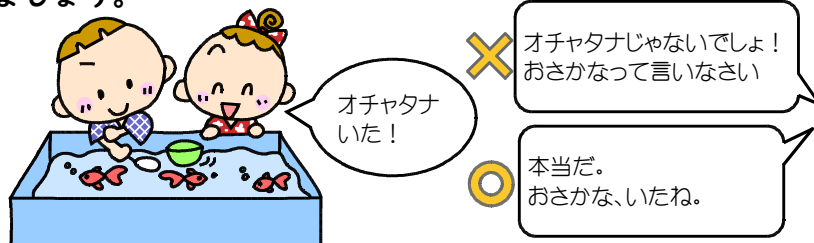


ことばを育むためには…

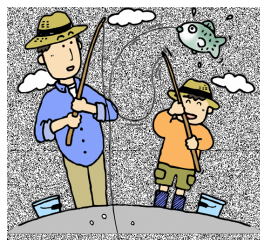
○誤った発音をしているのを耳にしたら、言い直しをさせるのではなく、会話の中で正しい言葉をお子さんの耳に入れるようにしましょう。



○お子さんが話しかけてきたら、手を止めて顔を見て話を聞くようにしましょう。



○お子さんと一緒にいろいろなことを楽しみましょう。(共通の体験から多くの会話が生まれます)



<東小ことばの教室へは…>

- ①市役所方向からスーパーカドイケの先を左折
- ②いずみ内科クリニックの角を左折
- ③学校側の駐車場一番奥にあることばの教室用駐車場へ車を停める
- ④「ことばの教室」と書かれた玄関よりお入りください

裾野市立東小学校

ことばの教室



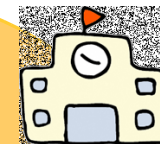
裾野市立東小学校 ことばの教室

〒410-1121

裾野市茶畑399番地

電話 (055) 993-4463 (教室直通)

(055) 992-0049 (学校代表)



このような話し方のお子さんに支援をしています

○単語の中で、特定の音が他の音と入れ替わっている。

★カ行をタ行、ガ行をダ行で発音している。

めがね→めだね、たいこ→たいとなど

★サ行をタ行、シャ行、チャ行などで発音している。

バス→バシュ、そら→ちょら、でんしゃ→でんちゃんなど

★ラ行をダ行で発音している。

ラクダ→ダクダ、レモン→デモンなど

★チ、シ、リなどイ列の音を誤って発音している。

ちきゅう→ききゅう、あし→あひ、リンゴ→ギンゴ

※誤った発音をしている場合、日記や作文で発音している通りに誤って表記をすることがあります。

○話している言葉が全体的に分かりにくい。

★全体的に発音がはっきりしない。

★使っていることばの数が少ない。

★会話のキャッチボールが上手いかない。

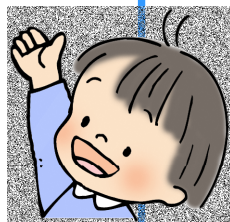
★テレビを近くで見たり、音を大きくしたりする。
(→耳の聞こえがよくない場合も考えられます。)

○話し始めの音を繰り返したり、伸ばしたりする。

★「ぼ、ぼ、ぼくね…」、「ぼーくね」、「……ぼくね」など

※学齢児の通級は、『ことばの問題が他の障害に起因していない』という条件があるため、上記のような話し方をしている場合、通級が認められないことがあります。

(他の障害：知的障害、聴覚障害、発達障害、運動障害など)



ことばの教室 Q&A

Q1：ことばの教室って何をするとところ？

A1：発音や、ことばの話し方などに不安を感じているお子さんに、正しい発音の仕方を教えたり、楽しく会話ができるようになるための練習をしたりする教室です。

Q2：費用はかかるの？

A2：指導を受けるための費用はかかりません。

Q3：通級指導って何？

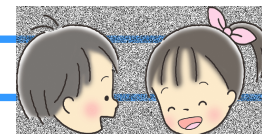
A3：基本的には、在籍校（自分の学校）で過ごし、決められた日時にことばの教室に来室して、ことばについての指導を受けるという指導の形態です。1回の指導は45分間です。東小以外から通級する場合には、大人の方の送迎が必要です。

Q4：通級指導はいつ、どんな風に行うの？

A4：通級の指導は学校での授業に替えたり、加えたりして行うことになっています。通年で通級する曜日と時間を設定するため、授業中に通級する人も、放課後に通級する人もあります。一人ひとり苦手な音が異なるため、基本的には、一対一で指導を受けます。ことばの教室に通うために、遅れて登校したり、早く学校を出たりしても、「遅刻」や「早退」の扱いにはなりません。

Q5：どこに申込みをするの？

A5：在籍の小学校（学級担任、特別支援コーディネーター）を通して東小学校ことばの教室に申し込んでください。在籍校から連絡を受けた後、折り返し、相談（面接）に来ていただける日をお伝えします。



支援の内容

音を聞き取る力を育てます

一つ一つの音や単語、文章の中から特定の音を聞き出すことのできる鋭い耳の力をつけます。(音を聞き取る力がつくと、自分の音の誤りに気づけるようになります。)

正しい音の出し方を学びます

日本語の正しい音の出し方を学ぶため、カ行であればガラガラうがい、サ行であればストローを使った息の練習などそれぞれの音を出すため舌や口の動きを学びます。

会話を楽しみます

正しい音が出せることは大事ですが、お話をしたい、誰かに伝えたいと思う気持ちはもっと大切です。一対一でゆっくりと話をする中で話し好きな子に育てます。